

## 第 1・2 回加東市総合計画審議会に係る意見等に対する考え方等について【基本計画関係分】

## 意見の取扱い区分

「●」…基本計画（素案）へ反映

「◇」…参考意見等（基本計画へ反映しない）

番号	内容区分	提出者	意見	意見の取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
1	基本計画	委員	加東市の魅力やひとづくりに、妊活のサポートも追記してほしい。子育てのサポートを充実させる以前に子供が生まれないと意味がないので、加東市民病院の婦人科の利用法として子供を作りやすい環境の整備や妊活のサポートを実施する。補助金は年齢で切っているが、病院では年齢で切ることなく、子供を望む全ての人に対応する。体外受精などの高度医療をすぐに勧めないで、生活習慣の見直しや、子供がしやすい体作りや、妊活中の心のサポートをする婦人科になってほしい。また、男女が通院しやすいように、また仕事との両立が可能になるように、診療時間を遅くするなどの見直しが必要だと考える。	●	55	若い年齢層への妊娠に対する知識の普及や健康管理の重要性についての周知を、健診受診や生活習慣病予防対策の取組の中で実施することとし、この取組を基本計画に定めます。	健康課
				◇	—	加東市民病院の婦人科では、相談者に合った方法（体外受精も含む。）をお伝えし、必要とあれば他の施設を紹介しています。診療時間の拡充については、経営面を踏まえて検討しますが、病院事業の運営方針の中心部分となるものではないため、基本計画へは反映しません。	病院事業部

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
2	基本計画	委員	<p>「広域交通に優れたまち」について、広域的なアクセスは良好であるが、生活圏内の公共交通アクセスの考慮について高齢化が進む中、また認知症に関する免許更新時の規制も厳しくなった現状において免許証を返納する高齢者も増えてくると推測する。車社会の中で生活する高齢者にとって行動範囲が規制され、引きこもり生活を強いられるのではないかと考えられる。やはり、西脇市や小野市が運行されているコミュニティバスの運行が必要か。とりあえず、家にこもらない状況をつくるのが大切だと思う。今、世間では常に取り上げられているので、本市においてもどのような計画があるのか。先日ある市町の企画に、孫と一緒に公共施設を利用した場合、使用料の割引が受けられるというものがあった。孫と出かければ祖父母は食事をしたり、買物もする。まちの活性化になることから高齢者の引きこもりも解消されるという話も聞いたこともある。高齢者になると、地区外に出ていくことのほとんどは、医療関係先に行くという外出理由ではないかと思うので、交通機関の充実が必要ではないか。</p>	●	111 112	<p>持続可能な地域公共交通網の形成へ向けて、地域公共交通ネットワークの形成や地域公共交通の利用環境整備、地域の主体的な取組による地域公共交通の維持・拡大等に加え、福祉タクシー事業のあり方の検討についての取組を、基本計画に定めます。</p>	企画協働課 高齢介護課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
3	基本計画	委員	「広域交通に優れたまち」に関して、中国自動車道社パーキングエリアの拡充を希望する。	◇	111	まずは、路線バスと高速バスとの乗継がスムーズになるように、交通事業者相互の連携を強化し、中国自動車道社パーキングエリア利用者の利便性向上へ向けて取り組んでいくこととし、基本計画においてその取組を定めます。	企画協働課
4	基本計画	委員	社会潮流の変化の「ライフスタイルや価値観の多様化」に、次の文章を加えてはどうか。 ⇒家庭内では今後、経済的な理由から在宅介護を選択した場合の配偶者・子どもの経済的・精神的負担の増大、並びに成人の家庭内ひきこもりの増大による親の経済的負担、子どもの独立とか未婚・離婚に伴う一人世帯の増加による精神的不安などが懸念されており、家庭内でのこれらの事象が緩和されるよう図る必要がある。	◇	—	各部署での取組をはじめ、各部署間での連携した総合的な取組により推進していく事項であるとともに、行政だけではなく家庭内における取組が中心となる課題であることから、基本計画への具体的な取組は定めません。	健康課 高齢介護課 病院事業部 等

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
5	基本計画	委員	<p>社会潮流の変化に次の項目を追加してはどうか。</p> <p>⇒「地域創生の実現に向けて」</p> <p>出生率の低下、若年層の都市部への転出などによる若い世代の減少から、労働者不足、経済成長の減退、高齢者の介護者の不足等が本市でも懸念される。これらの影響を軽減させるために地域創生を推し進めていく必要がある。地域創生を「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」の観点から、本市が有する産業資源・観光資源を生かしながら「ブランド力」、「知名度」を向上させ、産業の進行、雇用の安定と若い世代の定住化を図っていく必要がある。</p>	●	4 ～ 7	<p>「少子高齢化や人口減少社会の進行」における細目的な事項であり、重要な取組であることから、個別の取組とともに、重点戦略として基本計画に定めま</p> <p>す。</p>	<p>企画協働課 まち未来課</p>

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
6	基本計画	委員	<p>基本計画に関して、これまでの10年間で何を行い、どのような成果が見られたかを押さえる。その上で、今後10年間で何を継承し、何を新たに付加するのかを明確にし、重点プロジェクトに書き込むことが必要になると考える。人口減少に対する対策、人を呼び寄せる仕組みづくり、高齢化社会への対応、安心して住みよいまちづくり（その具体的方策）が、重点課題になると思う。加東市の社会的資源として大学（兵庫教育大学）もあるので、有効に活用していただけるとありがたい。</p> <p>【会議においても意見あり】</p>	●	4 ~ 7	<p>第1次総合計画の総括（第1回審議会での配布資料：総括報告書）により、成果、今後の課題や方向性を整理しており、その内容を踏まえて、重点戦略やそれぞれの取組を基本計画に定めます。また、今後あらゆる分野において兵庫教育大学と連携しながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	企画協働課
7	基本計画	委員	<p>エコ自治体を目指すべき。</p>	●	45 46	<p>うちエコ診断の受診促進などの取組をはじめ、一事業者として省エネルギー対策を推進することを、地球環境に配慮したまちづくりとして基本計画に定めます。</p>	生活課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
8	基本計画	委員	環境パートナーシップ協定締結件数が少ないので増加を図るべき。また、うちエコ診断の受診件数を増やし市民の温暖化対策（省エネ）の意識を高める必要がある。	●	45 46	環境パートナーシップ協定締結数やうちエコ診断受診数の増を含めて、市民の意識向上を図るための取組を、基本計画に定めます。	生活課
9	基本計画	委員	防犯カメラの設置は難しそうなので、ドライブレコーダーをうまく活用した防犯対策はできないか。	●	123 124	ドライブレコーダーは自動車事故発生時の証拠としての活用が中心となるため、防犯上必要と考えられる公共性の高い場所を中心に、防犯カメラの計画的な整備を行っていくことを基本計画に定めます。	防災課
10	基本計画	委員	重要性が高く、満足度が低い施策として、「36：公共交通」、「30：雇用の確保」、「24：医療」等がある。特に、公共交通に関していえば、社パーキングエリアのバス停入口、出口の景観を整備し、駐車できるスペースを増やすだけでも、随分利用者の便に資することになると思う。社町駅の1日200円の駐車料金のような形式がヒントになるように思う。	◇	—	社パーキングエリアは休日になると駐車場が満車になっていますが、滝野社インター・東条停留所周辺の民間駐車場には空きがあるため、まずはその利用を促すとともに、高速バスと路線バスのスムーズな乗継を推進していくため、駐車場整備を行う予定はありません。	企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
11	基本計画	委員	住宅等に使用されているアスベスト対策についての取組を入れてはどうか。	◇	—	アスベストの環境モニタリングや、建築物の解体・改修時の規制など、大気中への飛散防止対策は県が実施しているため、市は建築物の解体・改修における各種届出の際に、飛散防止対策等の周知を図りますが、事務事業レベルであり、基本計画へは反映しません	生活課